

進路だより

鶴見養護学校
地域連携グループ進路係
No.5
令和元年10月2日発行

涼しさを感じる日が増えてきて、すっかり秋らしくなりました。さて、今回の進路だよりでは、近隣の事業所で行われた夏祭りの様子や、同窓会、夏休みの時期に実施した研修会、企業と語ろう in つるみ等の様子を報告させていただきます！！

イベントの様子

8月3日(日)に、つるみ地域活動ホーム幹、8月30日(金)に鶴見区障害者地域活動ホームもとみやで夏祭りが行われました。毎年地域の方々も楽しみにしているイベントで、沢山の人が来場していました。来月は雑貨工房みらい、もえぎの丘でお祭りがあります。皆さまぜひお越しください。

第14回みらいまつり

日時：10月12日(土)10時～14時
場所：雑貨工房みらい 作業室
切り花、カレーライス、フランクフルト
フリーマーケットなど。雨天決行

第4回もえぎの丘 もみじまつり

日時：10月19日(土)11時半～14時半
場所：もえぎの丘
焼きそば、焼き鳥、カットフルーツ、ゲーム、ソ
ーラン節など。雨天決行



同窓会



7月15日(月)海の日、本校食堂で同窓会が行われました。今年は新たに本校36期生、分教室11期生が同窓生として加わりました。当日は雨模様でしたが、約70名が集まりました。ドリンクバー形式でジュースを飲んだり、お菓子をつまんだりしながら、新同窓生の自己紹介を聞きました。わきあいあいとした歓談の後、終盤には恒例のカラオケタイム。曲に合わせて踊ったり歌ったりと楽しいひと時を過ごしていました。

職業相談会の様子



8月7日(水)、ハローワーク川崎にて職業相談会を実施しました。対象は、就労を希望する高等部3年生の生徒とその保護者です。ハローワークの職員から、“就労に向けて必要な力”や“心構え”などについての講義を受けた後に一人ひとり相談窓口に座り、求職申し込みをしました。自分が今まで実習をした企業の話や、希望の職種、勤務形態、お給料の希望額などを聞かれ、みんな緊張しつつも自分の考えをハローワークの職員に伝えていました。また、求人票検索機を使用し、自分の興味のある求人票をプリントアウトする練習もしました。みんなタッチパネルの使い方は慣れたもので、自分の希望する職種や勤務時間、勤務地を打ち込み検索をして希望の職場を探しました。

夏季公開研修会の様子



7月25日(木)、本校食堂にて、教職員対象の研修会が開かれました。テーマは"ライフスタイルに応じた福祉サービスの使い方(青年編)"ということで、講師に鶴見区基幹相談支援センターの稲葉様、山木様をお招きしました。卒後利用できるサービス、基幹支援相談センターの取り組み、今まで相談を受けてきたケースの中からお金のこと、人間関係のこと、単身生活の準備などについてお話しいただきました。教育機関と福祉との連携の大切さや、余暇の重要性、失敗経験が時にはステップアップに繋がるなど、現場で長く経験されているからこそ聞こえてくるリアルなお話が、今いる子どもたちをどう支援していけば良いかと考えさせられる貴重な機会となりました。また、関係者同士が安心して連携するためには、本人や、本人に関わる人たちについて、自分から「この人ってどんな人なんだろう。知りたいな。」と興味をもつことが大切であると教えていただきました。



「企業と語ろう in つるみ」

8月28日(水)、本校にて「企業と語ろう in つるみ」が行われました。これは、近隣の特別支援学校で協力し、特例子会社の社長等においていただき、講演やグループディスカッションを行うものです。

まず、基調講演として、(株)富士電機フロンティアの小形社長にお話しいただきました。テーマは『それぞれの「働く」に向けて』、そしてキーワードは『「やらせるのが可哀そう」ではなく「やらせないのが可哀そう』』です。小形社長によれば、「働く」とは「生きること」の一部であり、働くことが「生きることを喜ぶ・生きることを楽しむ」ことにつながり、働く意欲につながります。そして、何が楽しいのか、何が喜びなのか、何をしたいのか、何に興味を持つのかは、色々と体験・経験してみないと、させてみないとわからないのです。自己肯定感も、生きることを楽しみ、生きることを喜んでいる自分に対して生まれてくるもので、学校時代や家庭・地域において、楽しみや喜びを見つけておくことが働くためには必要不可欠なのです。

その後のグループディスカッションでは、「自分の優れているところをみつけて、そこを生かす」「当たり前のことを当たり前でできるようになることが大事」といったような意見がたくさん聞かれました。企業の方からの話というとい身構えてしまいそうですが、実は、企業が求めているものは福祉事業所等でも求められるごく普通のことです。しかも家庭や学校においてじっくり準備できるものです。将来に向けての不安を安心に変えていけるよう、充実した日々を過ごしていきましょう。